

---

---

## ①水質調査（速報）

---

---

- 調査実施日
- ・平成26年9月26日

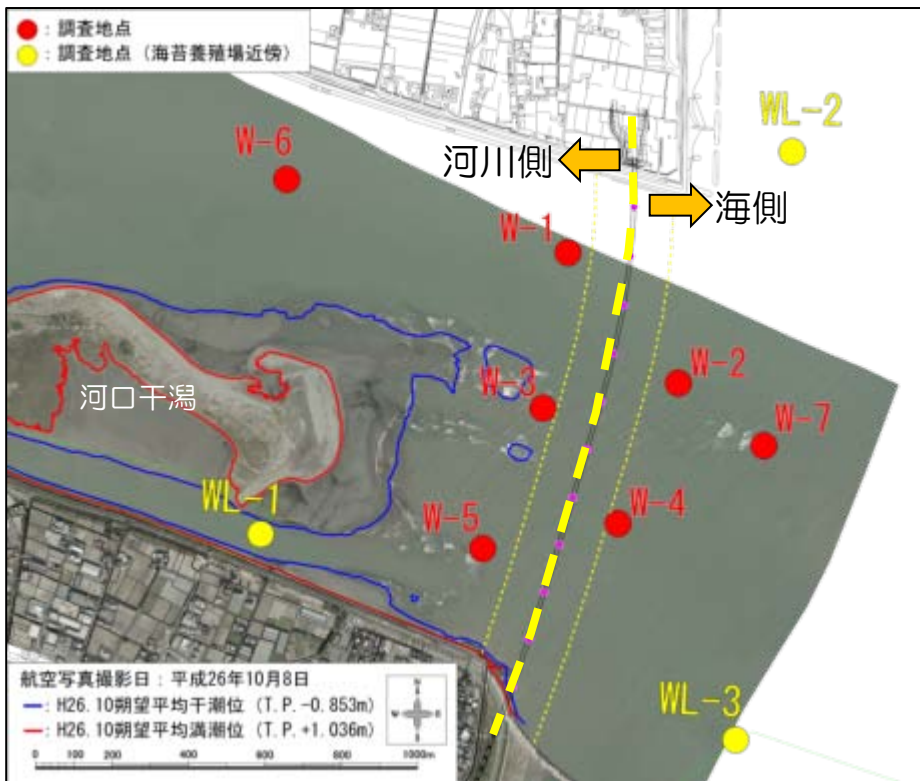
## ■水質調査の結果(速報) ～調査結果～



水質調査の結果を以下に示す。

- ①吉野川渡河部の水質は、河川側・海側に関わらず、ほぼ同様であることが確認された。
  - ②海域の有機物・栄養塩類の指標（COD、全窒素、全リン）は、基準値から見て比較的高い傾向にある（河川の有機物の指標はBOD）。
  - ③溶存酸素量の指標（DO）は、海及び河川の環境基準値から見て比較的高い傾向にある。
- ⇒河口域は、河川水が海域に流れ込むことで、有機物や栄養塩類が豊富な水域（河川と海の両方の特徴）となっていると考えられる。

### ■調査地点



### ■調査項目

河川側・海側で同様の水質であった。

調査項目	河川側	海側
水素イオン濃度 (pH)	8.0~8.1	8.1~8.1
生物学的酸素要求量 (BOD)	0.8~1.3	0.6~1.4
化学的酸素要求量 (COD)	2.4~2.6	2.2~2.5
溶存酸素量 (DO)	6.5~7.4	6.3~7.4
浮遊物質 (SS)	5.0~11.0	5.0~9.0
大腸菌群数	170~790	22~220
n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	<0.5	<0.5
全窒素	0.40~0.55	0.25~0.47
全リン	0.032~0.051	0.034~0.043
全亜鉛	0.003~0.006	0.004~0.008
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006
LAS	<0.0006	<0.0006

注意) 渡河橋を境にして上流を河川側、下流を海側としている。